

# ごみの減量化にご協力を！

平成30年2月19日(月)に二村台5区の燃えるごみの中に、どんなものが入っているかの調査を行いました。結果は裏面のとおりです。

調査の結果、重量比で約20.7%の資源が燃えるごみの中に混入していました。

その中でも特に、雑誌、プラスチック製容器包装、新聞、紙製容器包装に分別されるべきものが多く目立ちました。これらのものは、分別する手間から燃えるごみとして出されがちですが、分別して資源としてお出しただければ、リサイクルされ、ごみの減量化に繋がります。

また、生ごみは重量比で約26.8%でした。調理の際にどうしても出る野菜の切れ端ではなく、使い切れなかった食材やまだ食べられる食品が多く出されていた印象を受けました。冷蔵庫をチェックしてから買い物に行くことで買いすぎを防いだり、食材を上手に使い切ることでごみの減量化や食費の削減にも繋がります。



手をつけている生ごみ(全体の25.3%)



手をつけていない生ごみ(全体の1.50%)

まだ食べられそうなものもあってもったいないなあ...



作業中の風景



ごみの減量は、焼却施設から出る二酸化炭素や大気汚染物質の量が少なくなる事に加え、ごみの処分にかかるコストも低くなり、ごみの最終処分場の延命も図られます。

ごみの処分量を減らすには、まずごみをなるべく出さないようにすること、そして分別の徹底をはかり、資源を再利用することが重要です。

市民の皆さまの意識をより高めていただき、ごみの減量化にご協力をお願いします。

# 可燃ごみ組成調査結果

調査日 平成30年2月19日(月) 対象区域 二村台5区

分別種類	分別品目	重量 (kg)	重量比率 (%)
可燃ごみ	可燃ごみ	50.0	52.1
	手をつけていない生ごみ	1.4	1.5
	手をつけている生ごみ	24.3	25.3
資源	プラスチック製容器包装	4.4	4.6
	紙製容器包装	2.6	2.8
	牛乳パック	0.7	0.7
	新聞	4.2	4.4
	雑誌	5.4	5.6
	ダンボール	1.5	1.6
	衣類・布類	0.4	0.4
	ペットボトル	0.3	0.3
	アルミ	0.0	0.0
	スチール	0.0	0.0
	スプレー缶・カセットボンベ	0.0	0.0
	ビン	0.3	0.3
	不燃ごみ	不燃ごみ	0.4
禁忌品	乾電池・ライター等	0.0	0.0
合計		95.9	100.0

平成29年度可燃ごみ組成調査結果(重量比率)

